

令和4年度 学生の修学状況（中退者・休学者）等に関する調査結果

調査概要

- ◆ 調査対象：全国の国公私立大学、短期大学、大学院及び高等専門学校（回答率97.0%）
- ◆ 調査趣旨：各大学等における中途退学者・休学者の状況等について調査するもの。
- ◆ 対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

1. 中途退学者の状況

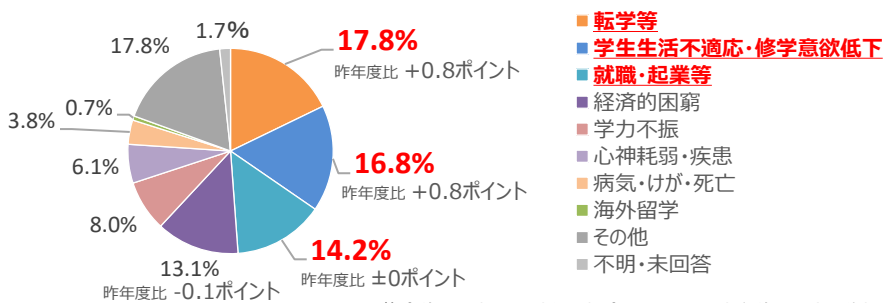
- 中退者は、**全体として令和3年度と比べて増加**。
- 主な中退理由は「**転学等**」「**学生生活不適応・修学意欲低下**」「**就職・起業等**」。
- R3に比べて「**転学等**」「**学生生活不適応・修学意欲低下**」が微増、「**経済的困窮**」が微減しているが、全体の内訳の傾向には変化はない。

令和4年度における学校種別中退者数及び中退者割合

学校種	中退者数	学生数に占める中退者数の割合
大学・短期大学	52,459人 (48,694人)	1.94% (1.79%)
大学院	9,430人 (9,181人)	3.55% (3.56%)
修士課程・ 専門職学位課程	4,923人	2.58%
博士課程	4,507人	6.02%
高等専門学校	1,209人 (1,173人)	2.16% (2.03%)
合計	63,098人 (59,048人)	2.09% (1.95%)

※括弧内はR3年度数値

令和4年度における中途退学の理由（単一選択）



※複合的な理由による中退の場合には、もっとも中心的な理由に分類。

2. 休学者の状況

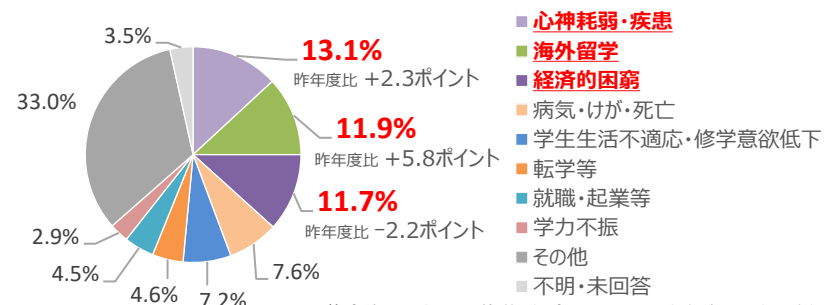
- 休学者は、**大学・短期大学・高等専門学校については令和3年度と比べて増加**している一方、**大学院については減少**。
- 主な休学理由は「**心身耗弱・疾患**」「**海外留学**」「**経済的困窮**」。
- R3に比べて「**心身耗弱・疾患**」「**海外留学**」が増加し、「**経済的困窮**」が減少。

令和4年度における学校種別休学者数及び休学者割合

学校種	休学者数	学生数に占める休学者数の割合
大学・短期大学	54,879人 (51,087人)	2.03% (1.88%)
大学院	12,414人 (14,056人)	4.67% (5.44%)
修士課程・ 専門職学位課程	5,402人	2.83%
博士課程	7,012人	9.36%
高等専門学校	571人 (536人)	1.02% (0.93%)
合計	67,864人 (65,679人)	2.24% (2.17%)

※括弧内はR3年度数値

令和4年度における休学の理由（単一選択）



※複合的な理由による休学の場合には、もっとも中心的な理由に分類。

※修士課程については、博士前期課程の学生を含む。博士課程については、博士後期課程、医歯学、薬学、獣医学関係の4年一貫制課程の学生を含む。高等専門学校については、1年～5年生の学生を含む。

※本調査において、中途退学者・休学者は留学生を含めた正規生のみを対象。中途退学者数には、博士課程満期退学者は含まない。

※学生数に占める中退者数・休学者数の割合については、令和4年4月1日時点の学生数に対する割合を算出したもの。